

# 週 報



## 「笑門来福」

例会日 毎週水曜日 12:30～ 例会場 ホテルシーズン日南  
 住所 日南市園田3-11-1 TEL 0987-22-5151 FAX0987-22-9588

会長 山口秀一

### 地域社会の経済発展月間・米山月間

第3222回例会	No.14	2019.10.16	晴れ
点鐘・国歌・ロータリーソング	12時30分 「日も風も星も」		
四つのテスト	鬼束忠男 君		
ゲ ス ト	日高 響君 (日南高校 普1年) 藤井千有里君 (日南高校 普2年) 小玉阿子君 (振徳高校 経営情報3年) 江藤朱音君 (振徳高校 福祉科1年) 川邊 葵君 (宮崎福祉医療カレッジ 介護福祉学科1年) 笠野水保先生 (日南高校) 林 拓郎・高妻幸太郎先生 (振徳高校)		
例 会 行 事	わかば奨学金授与式		

### 会長時間

一昨日の10/14は、体育の日でした。この名称は、今年で最後で来年からはスポーツの日に名称が変わるそうです。来年のスポーツの日は特例で東京オリンピックの開催日7/24になり翌年から10月に戻るそうです。スポーツといえば、今、日本中たいへん盛り上がっていますラグビーですがメインスタジアムになるはずだった新国立競技場(東京)の完成が、建設計画を巡るゴタゴタでW杯に間に合わず、使えなくなったことを問題視され、南アフリカへの開催国変更案が検討されていたという。この大ピンチを見事に救ったのが、日本代表の演じた世紀の大番狂わせだ。ちょうどその頃にイギリスで開かれた前回W杯で、日本が南アフリカを破ったことで、開催国の変更案は影も形もなくなった。

東大と慶大の両方で教授を務める鈴木寛(ひろし)・元文科副大臣(55)のエッセイから「哲学するラグーマン」平尾誠二から、一つ年上の平尾誠二と30代前半で出会った。「彼の中には『平尾語録』があるそうです。その一つが『俺は選手って言葉は使わない』。選手って、選ばれた人でしょ。『俺はプレーヤーって言う』と。プレーヤーってというのは、楽しむ人ですよ。一部の人が選ばれて、その人たちに必要以上のプレッシャーや責任を負わせるというスポーツのあり方や、そういう日本の側面を変えたい。スポーツはみんなが楽しんで、はつらつとやるものなのに、スポーツをやることによって重荷を背負っていくようなことになってしまふ。『必死の形相でやるのは、スポーツではない』ということも、言っていたそうです。平尾さんはラグビーからものを見ているのですが、そこに『日本人論』や『教育論』、『社会論』とか、そういうものが含まれていました」

「プレーヤーにとって、特に日本のアスリートにとっては何が一番大事なのかというと、それは『判断力とコミュニケーション力だ』と。『逆に言うと、スポーツをやる意味というのは、それを養うところにあるのだ』とも話していました。かつてフィギュアスケートには、氷上に描かれた円などの図形に従って滑る規定(コンパルソリー)というのがありました。平尾さんは『日本のラグビーはメチャクチャきれい。ラグビーに規定があつたら世界一だ』と言っていましたね。決められたことをきれいにやる能力や技術が高いから、相手がいない状況でのパス回しなんかは美しい。でも、ラグビーは相手とのインタラクション(相互作用)でやるスポーツで、状況に応じて局面が変わっていく。ラグビーにとって大切なことは、まず状況判断。ボールを持って走るのか、蹴るのか、モールを作るのか。それを高速に、的確に判断する。加えてチームメイトとコミュニケーションを濃密にとって、状況判断や次の行動への展開のイメージを共有する。『自分はチームを作る時、ひたすら判断力とコミュニケーション力を磨くためのトレーニングをやる』と語っていました。平尾さんはそうい

うことを理路整然と、ものすご理論的な概念から具体的な作業のレベルまで、落とし込めていました」

スポーツで日本を変えるという2人の志は、2000年3月に実を結んでいる。平尾が長くラグビーと生活の本拠とした街であり、鈴木のみふさとでもある神戸市に「スポーツ・コミュニティ・アンド・インテリジェンス機構 (SCIX=シックス)」が誕生した。スポーツの分野では全国で初めて、非営利組織 (NPO) として経済企画庁 (当時) から認可を受けた。「企業と地域が、いいものを持ち寄ってつくったスポーツクラブで、サポートする会社の業種も横断的。それまでは『学校体育』だった日本のスポーツ界に、誰もが楽しめるコミュニティを作るという理念を持ち込みました。平尾さんは同志社大卒業後、イギリスに留学して、ラグビーの名門クラブチームで活躍されました。鈴木氏も通産省時代、Jリーグ発足の仕事に携わり、ドイツなどのスポーツクラブ文化をサッカーの側から見た経験があります。それぞれがヨーロッパで感じたことを、日本でも実現しようとしてきました」そもそも日本がW杯を招致できたのは、日本のラグビーが世界で、それなりの存在感を示してきた上に、成り立っています。そんな歴史に、プレーヤーとしての、あるいは指導者としての平尾誠二の足跡は欠かせません。

## 幹事報告

- 1) 国際ロータリークラブ第2730地区直前ガバナー事務所閉鎖のお知らせが届いております。
- 2) RLI2730地区パートIIの案内が届いております。

## スマイル

濱砂陸司君 九電グループと地元の皆さんで行っております、飢肥本町通の街路灯清掃ボランティア活動が、13日付の宮日に掲載されました。

竹井崇利君 平尾誠二の命日は10/20です、10/20はベスト4を賭けて南アフリカと戦います。平尾誠二も天国から勝利を祈っていると思います。ニッポン頑張れ!!期待を込めてスマイルします。

## 例会行事

### わかば奨学金授与式

今年度は5名の生徒さんがわかば奨学金を授与されました。おめでとうございます。



#### 日高 響君 (日南高等学校 普通科1年)

私には、薬剤師になりたいという目標があります。私が薬剤師を目指すようになったきっかけは、幼い頃の出来事にあります。私は幼いころとても病弱で、病院や薬局によく通っていました。その時目にしたのが、患者さんに優しく接し、病院から処方された薬を的確に処理する薬剤師さんの姿でした。その姿にあこがれ、薬剤師になりたいと思うようになりました。

しかし、薬剤師という職業は、6年制大学に通い、国家試験に合格して初めて薬剤師と名乗れる、とても厳しい仕事です。又、国家試験では、6年間の勉強の成果が試される場なので、努力なしで、合格出来るようなものではありません。それでも絶対に諦めずにやり抜く自信があります。近年AIが発達し、薬剤師という職が奪われつつあります。しかし、AIでもまだ手の届いていない力が「コミュニケーション力」です。人間にしかできない患者さんとの関係があるはずだと考えています。

また、薬剤師の仕事の1つである、患者さんへの「服薬指導」は、コミュニケーション力に加え、共感・協調する力などAIが苦手な分野のものがたくさんあります。私はこれらの力やスキルを磨いていくことで、AIにも負けない薬剤師になれると確信しています。あいにまけないやぐざいしをめざして、まずは国公立大学進学に向け、日々勉強を頑張りたいと思います。



#### 藤井 千有里さん (日南高等学校普通科2年)

私は、将来薬剤師になり、MSF (国境なき医師団) に入団し、国際貢献をするという夢があります。その夢を実現するために、私は、英語に力を入れています。その結果英検2級を取得する事が出来ました。また、去年は地域医療リーダー育成講座「日南塾」に参加し、医療の仕組みや現状を詳しく知る事が出来ました。そして医療は医療従事者のチームワークが大切だと言う事を学びました。

私はもともと薬剤師という職業に興味を持っていましたが、その職業に就くまでの過程がいかにか難しいか理解していたので、一時は夢を諦めていました。しかし、ある僻地医療のドキュメンタリー番組を見て衝撃を

受けました。患者のほとんどが子供たちで、多くの子がマラリアに感染していました。私は現実を突き付けられたと同時に、再び薬剤師になりたいと思うようになりました。そして、貧しい生活をしながら必死で生きる子供達を支援したいという強い思いを抱きました。

私はその夢を叶えるために現役で国立大学に進学したいと考えています。無謀とも思えますが子供達を救いたいという気持ちは変わりません。その為に必死で勉強する覚悟はあります、現実を見て自分の学力のレベルを考えながら確実に夢への可能性を広げられるよう励んで参ります。今日頂いた奨学金を将来の夢の実現に向けて使っていきたいと思えます。



#### 小玉 阿子さん (日南振徳高等学校 経営情報科3年)

私の将来の夢は、看護師になり医療の現場で働く事です。その為に、日南看護専門学校看護科に進学し専門的な知識や実践的な実技を学び、将来的には日南の地域医療に貢献したいと考えています。奨学金を希望した理由は、学業に専念したいという思いがあるからです。

現在私の母はヘルニアを患っており仕事が出来ない状況で、父の収入のみで生活をしています。進学先では年間80万円の学費が必要となり、講義の後はアルバイトをすることも考えましたが、両親とも話し合い学生時代の3年間は学業に専念したいと考えています。今日頂いた奨学金で学費や教材費、専門書代に充てたいと考えています。本日はありがとうございました。



#### 江藤 朱音さん (日南振徳高等学校 福祉科)

私の将来の夢は介護福祉士になることです。中学生の頃、祖母が入所している施設に会いに行った時に、職員の方が祖母に優しく対応しているのを見て、介護福祉士になりたいと思い、日南振徳高等学校の福祉科に進学しました。福祉科で専門的な知識と技術を身に付け、介護福祉士の資格取得に向けて学習に励んでいます。

就職を考えた時に次のようなことを聞いたことがあります。それは私の住んでいる日南・串間地区に於いても他の地区と同様に介護の担い手不足問題になっていると言う事です。その話を聞いて私は高校卒業後、介護福祉士として、地元の介護を支えられるようになりたいと強く思うようになりました。立派な介護福祉士になれるようにこれからも学習に励みたいと思えます。



#### 川邊 葵さん (宮崎福祉医療カレッジ 介護福祉学科1年)

私は小学校時代からの夢である、介護福祉士を目指すために、今年、宮崎福祉医療カレッジに入学しました。また、一人暮らしを始め家族に迷惑をかけないようにとアルバイトもしています。そして、小学校からやっていた剣道も高校3年生まで続けてきました。家族の協力のおかげで頑張れたと思っています。今まで私が家族に支えられてきたので、次は私が助けようと思っています。その為にも宮崎福祉医療カレッジで2年間勉強して再来年の国家試験に合格できるよう毎日努力しています。

休みの日は施設でアルバイトをして、少しでも介護福祉士の技術を身に付けようと頑張っています。私は剣道をしていた為何事にも一生懸命で、人に負けたくないという強い気持ちがあります。

これから2年間、常に学業でも上位の成績をとれるように日々努力していきます。祖母に「頑張れば、頑張っただけ結果がついてくる」と言われて来ました。この言葉を信じて福祉の勉強を頑張っていきます。



将来の夢に向かって頑張ってください

## 出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	HC出席	MU	欠席	出席	出席率
今 週	35	3	32	20	8	4	28	87.50%
出席免除	村上、渡邊、古澤							
先取MU	石崎、菊池、黒岩、清水、豊田、日高、村社、宮田							
欠 席	守永、築瀬、齋藤(奈)、榎木田							

事務局〒887-0014 日南市岩崎3-4-2 Itten 堀川ビル2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長：山口秀一 副会長：村岡俊宏 幹事：入中英雄 雑誌会報広報委員長：河野通郎

雑誌会報広報委員会より 原稿は、[ocame@wing.ocn.ne.jp](mailto:ocame@wing.ocn.ne.jp)まで送信してください。